

リムパーザ錠について

□ リムパーザ錠 (LYNPARZA tablets)

商品名：リムパーザ錠 100mg, 150mg

成分名：オラパリブ (Olaparib)

OP 100

OP 150

□ リムパーザの内服開始にあたって

リムパーザはがん細胞を減らしたり、その増殖を抑えたりする薬 (抗がん剤) です。

今後治療を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。

薬のことをよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

□ がん細胞に対するリムパーザのはたらき

紫外線や化学物質などの刺激によって細胞の中にある DNA (遺伝子) に傷がつくと、そのままでは細胞は生存できなくなります。しかし、通常細胞には「DNA の傷を修復する仕組み」が備わっているため、傷ついた DNA は修復されます。

リムパーザは、卵巣がん細胞における DNA の修復に関わる酵素の働きを邪魔することでがん細胞の生存や増殖を阻止する薬で、PARP阻害薬と呼ばれています (PARP とは DNA の一本鎖修復酵素の名称です) 。

□ 服用上の注意

- ・内服するタイミングは、食後でも空腹時でも構いません。毎日大体同じ時刻に、12 時間おきを目安に内服してください (医師の指示通り) 。
- ・飲み忘れた場合、飲み忘れに気づいた時刻がいつもの服用時刻の 2 時間以内であれば、服用できなかった錠剤を服用してください。それ以上の場合は、次回の服用時間に 1 回分のみ服用してください。
- ・健康食品として売られているセント・ジョーンズ・ワート (セイヨウオトギリソウ) 含有食品と一緒に飲むと、この薬の効果が弱くなる可能性があります。
- ・グレープフルーツジュースを飲むと、薬による副作用が出やすくなる可能性があります。

□ 副作用とその対策 副作用に関する理解を深めて、うまくコントロールしていくことが大切です

比較的出やすいもの - 症状が出たら主治医に伝えてください

【 貧血 】

薬の影響により貧血が進行することがあります。採血にてヘモグロビンの値などを確認し、貧血の進行が確認された場合は薬をお休みしたり、薬の量を減らしたりするなどして対応します。

【 好中球減少 / 血小板減少 】

貧血と比べ頻度は低いですが、好中球や血小板の数が少なくなることがあります。採血にて好中球や血小板の減少が確認された場合、薬をお休みしたり薬の量を減らしたりするなどして対応します。

【 悪心 】

悪心 (吐き気) は比較的飲みはじめに出やすい副作用です。症状が出た場合は、吐き気止めを内服することで対応しますので伝えて下さい。

その他

- ・間質性肺炎 (ひどい咳や息苦しさなどが出たらすぐに伝えてください)、倦怠感、無力感 など

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。
他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111 (代表)

《 医療機関の方々へ がん薬物療法に関するご説明・同意取得済みです 》

